

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第10回月例研究会

日時：2011年7月6日（水）16：30～

場所：人間文化研究科・大会議室（F棟5階）

内容：「美術史学とはなんだろうか

—— 図像解釈学の可能性 ——」

加須屋 誠（文学部 教授）

「美術史学とは、美術作品の歴史を研究する学問と一般に思われているかもしれませんが、それは違います。一般の人には孤立化し閉じられているかにみえる「作品」を、開かれた「テキスト」と捉え直し、時間軸と空間軸を意識しつつそれをずらし、美術をめぐる社会システム全体について考察するのが、美術史家の仕事であると私は考えます。

図像解釈学（イコノロジー）と呼ばれる名前だけはよく知られながら、その実際が必ずしも理解されているとは思われない古くて新しい研究方法を核に、この学問のこれまでとこれからを考えてみたいと思います。」

ご自由にご参加下さい